

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

会社名
所在地
担当者
電話番号
FAX 番号
緊急連絡先
作成日

2020/05/08

製品名： カインズ オイルスプレー for PRO

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

皮膚感作性

区分 1

生殖毒性

区分 1A

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分 3 (麻酔作用)

誤えん有害性

区分 1

※上記の項目で「区分外」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかに該当するものは記載省略

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- H222: 極めて可燃性の高いエアゾール
- H229: 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ
- H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H360: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- H336: 眠気またはめまいのおそれ
- H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

- 応急措置 p.1 に記載
- 取り扱い p.2 に記載
- 保管 p.2 に記載
- 廃棄 p.3 に記載

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
成分

混合物

石油系溶剤 (30-50%)、鉱油 (1-20%)、防錆剤 (1-20%)、
その他添加剤 (1-10%)、噴射剤 (LPG) (40-60%)

C A S N o .

企業秘密のため非公開

4. 応急措置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
- 眼に入った場合： 水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合、固着していなければ外す。十分、洗浄後、医師の手当を受ける。
- 皮膚にかかった場合： 水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。
腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法： 速やかに容器を安全な場所に移す。
消火に棒状の水を使用してはならない。
初期の消火には下記の消火剤を用いる。
- 消火剤： 霧状強化剤、泡、粉末、炭酸ガス

6. 漏出時の措置

- 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。
風上から作業する。
砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。
土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い： 関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。
製品の使用中、飲食および喫煙しない。
熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。
必要に応じて呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。
屋外または通気性が良い場所で使用する。
常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液との接触に注意する。
使用後は手洗いを十分する。
- 保管： 使用中も水分、異物が混入しないよう、できるだけ密閉する。
屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。
ふたを必ず密閉する
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
鉱油	設定されていない	3mg/m ³	5mg/m ³
設備対策	排気装置を設けるか通気性を良くする。 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。		
呼吸用保護具	必要であれば防毒マスクを着用する。		
保護眼鏡	必要であれば着用する。		
保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。		
保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。		

9. 物理的及び化学的性質

外観等	褐色透明液体
揮発性	あり
比重	約 0.84 (20℃) (原液)
溶解度	水に不溶
引火点	80℃以上 (原液)
発火点	データなし

爆発限界 データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性 あり
 酸化性 なし
 安定性 安定
 反応性 強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

急性毒性 鉱油 経口 LD₅₀>5,000mg/kg (ラット)
 経皮 LD₅₀>5,000mg/kg (ラット)
 吸入(ミスト) LC₅₀=5mg/L(4h) (ラット)
 刺激性 有用なデータなし
 慢性毒性 混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。
 発がん性 使用している基油は高度精製基油であり、IARC ではグループ 3 に分類。(人に対する発がん性について分類できない)
 EUによる評価：発がん性物質としての分類は適用される必要はない。
 感作性 混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。
 変異原性 有用なデータなし
 催奇形性 有用なデータなし
 生殖毒性 混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。

12. 環境影響情報

魚毒性、蓄積性、分解性：有用なデータなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号 1950
 品名 エアゾール
 国連分類 クラス 2.1
 容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。
 関連法令に従った措置も講じる(品名、数量、火気厳禁の表示、消火装置の設置
 積み重ねの高さは3m以下にする等。)
 第1類及び第6類の危険物及び高压ガスと混載しない。

15. 適用法令

消防法・・・第4類第3石油類 危険等級Ⅲ
 水質汚濁防止法・・・油分排出規制 5mg/L (n-ヘキサン抽出分として)
 海洋汚染防止法・・・油分排出規制 (原則禁止)
 労働安全衛生法・・・通知対象物：鉱油、ブタン
 表示対象物：鉱油、ブタン
 PRTR 法・・・非該当

16. その他

参考文献

1. 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂7版 (2017)
2. 日本規格協会 JIS Z 7253:2019、JIS Z 7252:2019
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報]
4. 各原料の SDS

注意事項

この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常の手配を想定して作成したものです。
 SDS は安全の保証を約束するものではありません。
 取扱者は状況に応じて使用してください。
 SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。